

《担当者名》教授 / 足利 俊彦
非常勤講師 / 竹内 康二

【概 要】

医療や医薬品の国際的調和が進む現在、薬学を専攻する学生にとっても英語はグローバルかつ最新の情報を得るために必要不可欠なものとなっている。国際的視野に立ったものの見方を身につけ、将来、国際化の流れに対応できる薬剤師となるために、英語で薬学に関する情報を理解し発信できるよう応用力を養う。

この授業では、英語を通して科学的思考法を学び、解釈ができるように、1) 医療現場で必要とされる英語の専門用語を理解すること、2) 医療や薬学に関する情報を入手する際に貴重な情報源となる海外のインターネット・サイトにアクセスし、英語で書かれている文献を検索、理解し、要約できる能力を養成することを目標とする。授業ではコンピューター、インターネットを積極的に活用する。

【学修目標】

英語で書かれた科学、医療に関連する文章を読んで、内容を正確に説明できる。

薬学に関連する英語の代表的な専門用語を列挙し、内容を説明できる。

薬学関連分野でよく用いられる英単語を正確に記述できる。

薬の基本的情報を英文で収集し、内容を日本語で記述できる。

英語で書かれた医薬品の添付文書の内容を説明できる。

主な病名、組織・臓器名、医薬品名などを英語で発音できる。

平易な英語を用いた専門分野のプレゼンテーションを理解し、概要を述べることができる。

インターネットを通じて、医療に関する情報を世界中から検索することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	Aクラス & Cクラス		
1	1.Introduction 2.Buying Medicine	・授業概要の説明 ・薬局での会話に必要な英語表現の基礎的音声を聞き分けることができる。 ・英語の会話を聞いて内容を理解して要約できる。 【e-learning】 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	竹内 康二
2 { 3	News Articles on FDA Activities (FDA)	・食品、医薬品などの安全に関する情報を発信しているFDA(U.S. Food and Drug Administration: 米国食品医薬品局)のホームページにアクセスし、市販薬のDrug Labelの形式と読み方を概説できる。 ・薬学に関連する英語の専門用語のうち代表的なものを列挙し、その内容を説明できる。 【e-learning】 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	竹内 康二
4 { 5	Interactive Tutorials (MedlinePlus)	・Heart & Stroke Foundationの「Heart disease」に入り、心臓の構造と機能に関する内容を説明できる。 ・米国国立医学図書館(National Library of Medicine)が運営するMedlinePlusを利用して心血管疾患に関する英語の専門用語を正確に記述できる。 ・病名、組織・臓器名、医薬品名などを英語で発音できる。 【e-learning】 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	竹内 康二

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
6 }	Understanding Clinical Trials (Mayo Clinic)	●米国メイヨー・クリニック (Mayo Clinic) がインターネット上に公開する教材を利用して、治験に関する要旨を読み、音声データを聞き、それぞれの内容について説明できる。 【e-learning】 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	竹内 康二
8	前半授業のまとめ：重要事項の確認と質問	●前半講義内容の確認・復習と講義中に行った演習問題のQ & Aなどを通して、理解度・習熟度を深め、重要事項について説明できる。 【e-learning】 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	竹内 康二
9 }	Online Pharmacy Service (Walgreens, Rite Aid)	●米国の大手薬局チェーンが提供している各種サービスの内容を概説できる。 【e-learning】 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	足利 俊彦
11 }	Pharmaceutical Company (Pfizer)	●世界最大の製薬会社 Pfizerのホームページを利用して薬品に関する情報を検索することができる。 ●「Lipitor」という高コレステロール血症治療剤について患者向けに提供されている情報を読んで、その内容を正確に説明できる。 【e-learning】 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	足利 俊彦
13 }	Search Techniques (MedlinePlus, PubMed)	●米国国立医学図書館が運営するMedlinePlusを利用して医薬品、疾病、臓器等に関する情報を検索し、その内容を正確に説明できる。 ●PubMedを利用して医学・薬学関連の論文を検索し、要旨の構成について説明できる。 【e-learning】 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	足利 俊彦
15	後半授業のまとめ：重要事項の確認と質問	●後半講義内容の確認・復習と講義中に行った演習問題のQ & Aなどを通して、理解度・習熟度を深め、重要事項について説明できる。 【e-learning】 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	足利 俊彦
	Bクラス & Dクラス		
1	1.Introduction 2.Buying Medicine	・授業概要の説明 ●薬局での会話に必要な英語表現の基礎的音声聞き分けができる。 ●英語の会話を聞いて内容を理解して要約できる。 【e-learning】 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	足利 俊彦
2 }	Online Pharmacy Service (Walgreens, Rite Aid)	●米国の大手薬局チェーンが提供している各種サービスの内容を概説できる。 【e-learning】 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	足利 俊彦

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
4 { 5	Pharmaceutical Company (Pfizer)	●世界最大の製薬会社 Pfizerのホームページを利用して薬品に関する情報を検索することができる。 ●「Lipitor」という高コレステロール血症治療剤について患者向けに提供されている情報を読んで、その内容を正確に説明できる。 【e-learning】 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	足利 俊彦
6 { 7	Search Techniques (MedlinePlus , PubMed)	●米国国立医学図書館 (National Library of Medicine) が運営するMedlinePlusを利用して医薬品、疾病、臓器等に関する情報を検索し、その内容を正確に説明できる。 ●PubMedを利用して医学・薬学関連の論文を検索し、要旨の構成について説明できる。 【e-learning】 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	足利 俊彦
8	前半授業のまとめ：重要事項の確認と質問	●前半講義内容の確認・復習と講義中に行った演習問題のQ & Aなどを通して、理解度・習熟度を深め、重要事項について説明できる。 【e-learning】 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	足利 俊彦
9 { 10	News Articles on FDA Activities (FDA)	●食品、医薬品などの安全に関する情報を発信しているFDA(U.S. Food and Drug Administration: 米国食品医薬品局)のホームページにアクセスし、市販薬のDrug Labelの形式と読み方を概説できる。 ●薬学に関連する英語の専門用語のうち代表的なものを列挙し、その内容を説明できる。 【e-learning】 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	竹内 康二
11 { 12	Interactive Tutorials (MedlinePlus)	●Heart & Stroke Foundationの「Heart disease」に入り、心臓の構造と機能に関する内容を説明できる。 ●米国国立医学図書館が運営するMedlinePlusを利用して心血管疾患に関する英語の専門用語を正確に記述できる。 ●病名、組織・臓器名、医薬品名などを英語で発音できる。 【e-learning】 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	竹内 康二
13 { 14	Understanding Clinical Trials (Mayo Clinic)	●米国メイヨー・クリニック (Mayo Clinic) がインターネット上に公開する教材を利用して、治験に関する要旨を読み、音声データを聞き、それぞれの内容について説明できる。 【e-learning】 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	竹内 康二
15	後半授業のまとめ：重要事項の確認と質問	●後半講義内容の確認・復習と講義中に行った演習問題のQ & Aなどを通して、理解度・習熟度を深め、重要事項について説明できる。 【e-learning】 《薬学準備教育ガイドライン》	竹内 康二

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		(1)-2, (3)- , ,	

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

定期試験 50%、小テスト 20%、平常点（課題、発表など） 30%で評価する。

小テストは解説を遠隔授業ポータルサイト(Google drive)に公表する。

【備考】

教科書：インターネットを利用して、海外の医療関連機関、製薬会社、薬局のホームページからダウンロード

参考書：授業中に指示する。

【学修の準備】

- ・予習として、次回の講義資料を読んで、薬学に関連する専門用語や表現について調べ、理解しておくこと（40分）。
- ・復習として、プリント、講義メモ、インターネット・サイト等を活用して授業内容を確認し、理解を深めること（40分）。

【薬学準備教育ガイドライン】

(1) 人と文化

(3) 薬学の基礎としての英語

【 読む】【 書く】【 聞く・話す】

【薬学部ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

1. 医療人として求められる高い倫理観を持ち、法令を理解し、他者を思いやる豊かな人間性を有する。
3. 多職種が連携する医療チームに積極的に参画し、地域のおよび国際的視野を持つ薬剤師としてふさわしい情報収集・評価・提供能力を有する。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している